



新年のごあいさつ

勝山市長 山岸正裕

明けましておめでとうございます。昨月11月、市長選挙において市民の皆さまの信任を賜り、4期目の勝山市政を預かることとなりました。無投票当選に甘んずることなく、今まで以上に緊張感を持って市政に取り組み、市民の皆さまの信頼と期待に応えて、勝山市の更なる発展を図っていくことを、新年を迎えてあらためて決意しております。

3期12年間を振り返りますと、西暦2000年の当選以来、市民の皆さまと一緒に考えて「市民のための市政」を推進してきました。その具体的政策は、「ふるさとルネッサンス」を理念に

した「エコミュージアム構想」に基づく市民によるまちづくりです。「わがまち元気発掘事業」から始まり、3年ごとにステップアップし、11年目の今「わがまち魅力醸成事業」として展開中です。

この間、自然、歴史、伝統文化、環境保全など、実に200を超すまちづくり事業が市民の手によって市内各地域の魅力を引き起こし、市民の自信と誇りを築いてきました。

例えば、九頭竜川のクリーンアップ、ホテルや希少植物の生態調査、保全活動などエコロジーの成果は、昨年5月に全国から3千人を超す参加者を迎えて「世界で9番目にクリーンなまち勝山」をア

ピールした環境自治体会議かつやま会議開催となって現れ、分科会での小学生の赤とんぼの生態調査発表は大きな反響を呼びました。また「鯖の熟れ鮓し」や「エゴマ」など、地域特産品の復活は今、地域産業としてエコロジーからエコノミーに発展しています。このような地域力は市民力となって、勝山市の力をつくってまいりました。

ハード面では国の交付金を活用して中心市街地各所の整備を進め、「はたや記念館ゆめおれ勝山」はまちなか拠点施設として、年間10万人を超す来館者でにぎわっています。

一方、平成15年から行財政改革に着手し、財政の健全化に大きな成果を上げてきました。そして、平成30年福井国体では、バドミントン競技の勝山市開催が決まり、その会場となる新体育館建設を進めています。また、平成28年度には北陸自動車道が中部縦貫自動車道と接続し、勝山インターまで繋がります。この機をとらえ、クルマでの来訪客への総合的なサービス施設として「道の駅」の整備を計画しています。中心市街地への

誘客では、駅舎内部の改修を進めている勝山駅から勝山橋、元禄一番街を通ってゆめおれ勝山までを、「恐竜シンボルロード」と位置づけて、様々な仕組みを考えてまいります。

北陸新幹線金沢駅開業、そして福井までの延伸により、人と物の流れが活発化して観光の概念も新しく生まれ変わろうとしています。これまでの東京を中心としたグローバル思考から、日本の四季折々の自然や伝統文化などへの関心が高まり、地方の「その土地らしさ」こそが最大の価値であると感じ直され始めました。

このグローバルイズムからローカルイズムへの志向変化は、観光だけでなく伝統工芸への興味やそれに触発された新しいクラフトなどによって若い世代が地方に活動の場を広げており、そのレベルの高さは都市部に劣らなくなってきました。また、自然に向き合う農業や田舎暮らしなど、都市とは一味違った自由を築しみ、魅力を見出して生きる人も増えてきました。企業の立地や生産活動も人、自然、環境など、その土地ならではの特性に目を向け始めて

います。勝山市は恐竜博物館をはじめ、白山平泉寺、スキージャム勝山、越前大仏、勝山城博物館等、恵まれた施設や史跡を生かして観光振興に取り組みとともに、地域固有の特性を魅力に、産業新興に向けてもアピールしていきます。

勝山市エコミュージアムが目指すもの、それは「いい町をつくる」という一点に集約されます。いい町とは、住んでいる人にとっては「いつまでも住み続けたい町」、一度勝山を離れた人にとっては「いつかは帰ってきたくなる町」、訪れる人にとっては「何度も何度も来たい町」です。

私はこれまで、このような勝山市をつくるために、全力を投入してきました。今期4年間は、このように市民の皆さまと一緒に取り組んできた過去12年間のベクトルの延長線上に、さらに力強い軌跡を描いてふるさとルネッサンスを実現してまいります。「小さくてもきらりと光る誇りと活力に満ちた勝山市の実現」のために、市民の皆様と一丸となって、力を尽くしてまいります。

12月定例議会

3億5954万5千円の増額の一般会計補正予算などを可決



招集あいさつをする山岸市長

勝山市議会12月定例会が11月30日から12月17日の日程で開催されました。

山岸市長は、招集あいさつの中で、先の市長選挙で4選を果たしたことのお礼を述べ、「今後もこれまで以上の成果を上げられるよう努力したい。」と話しました。

また、「これまで進めてきたエコミュージアムを中心とするまちづくりを、今後4年間もさらに推進していきたい。」と力強く話しました。

決まった内容

・補正予算

国の補助を使い、消防・緊急無線のデジタル化を行う工事費、職員の退職手当負担金や職員手当などの増額、奥越地域地場産業振興センターを入浴・休憩などの機能を備えた複合施設に改修するための実施設計費用など、一般会計に3億5954万5千円を増額し、総額を12億2770万2千円としました。

また、平成24年度勝山市下水道事業特別会計補正予算など特別会計補正予算7議案、企業会計補正予算1議案が可決されました。

・条例

勝山市暴力団排除条例など5つの条例の一部改正と、勝山市議会会議規則の一部改正が可決されました。

・その他

平成23年度勝山市歳入歳出決算が認定、平成23年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算が可決並びに認定されました。

陳情2件のうち1件が継続審査、1件が不採択となりました。

また、「勝山市教育会館耐震補強改修工事（建築工事）請負契約の変更について」の議案撤回が承認されました。

・委員の選任（敬称略）

勝山市監査委員の選任について同意されました。

藤村 敏夫（立川町）

※委員の任期
平成25年2月7日
平成29年2月6日

冬の風物詩 勝山 年の市

1月27日（日）
午前8時30分より
勝山市本町通りにて

むらの達人たち

平成25年 1月27日（日）
午前8時30分より
勝山市本町通りにて

勝山市の市へは便利なちせん鉄道で福井駅から勝山駅まで52分、毎時2本運行。

冬の風物詩 勝山年の市

とき 1月27日（日）
午前8時30分～

ところ 勝山市 本町通り

出店数 52店

木工品、民具、手作り品、食品等の店舗が軒を連ねます。お馴染みの「むらの達人コーナー」では、6人の達人たちによるござぼうしや、わら・竹細工の実演、鯖の熟れ鮓しの試食、報恩講料理の無料配布等を行います。詳しくは、年の市のパンフレットをご覧ください。

勝山本町通り商店街振興組合

☎090-8269-8529

勝山商工会議所 ☎88-0463